

ゆ り か ご



認定NPO法人
とくしまコウノトリ基金

活動レポート2026 Vol.7

コウノトリが舞う 笑顔輝く未来に



「ゆりかごVol.7」の発刊にあたって

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金

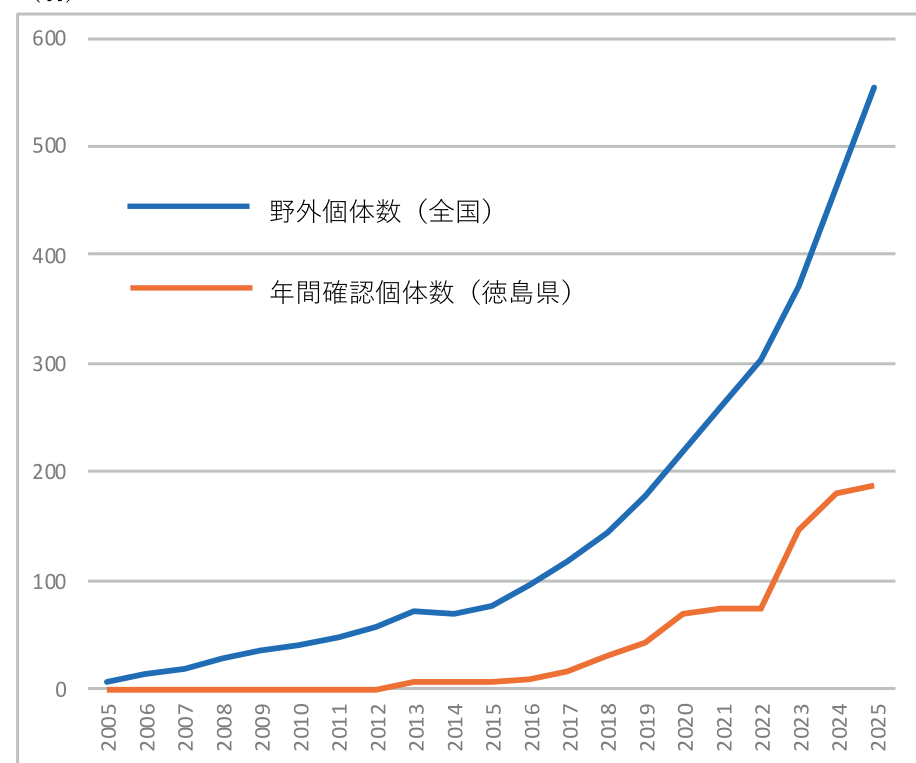
理事長 熊谷 幸三

2015年春に徳島県鳴門市にコウノトリのメス(愛称；あさひ)とオス(愛称；ゆうひ)が相次いで飛来してカップルとなり、巣作りを始めてから昨年は10年の節目の年となりました。その記念事業としてドイツからヨハネス・ブリューター博士(ドイツのコウノトリ専門家)を招聘し、国際フォーラムを開催しました。大勢の参加者があり成功裡に終わることができました。ここに関係された全ての皆様に心から感謝申し上げます。

さて、私達とくしまコウノトリ基金は2015年の鳴門板東ペアの繁殖行動開始と同時に発足したコウノトリ定着推進連絡協議会の流れを受け、2019年からNPOとして活動しています。コウノトリ保全を基本にこれまで耕作放棄地を再生したビオトープの整備、農業や環境を核とした地域活性化の取り組み、環境学習など数々の活動を展開してきました。これらの取り組みはマスコミに何度も取り上げられ、県民の皆さんに広くご理解を頂けるようになりました。これも会員の皆様はもとより行政機関、企業、ボランティアなど多くの方々のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

コウノトリ基金も新しいステージに入ります。あさひとゆうひの鳴門板東ペアは今年まで10年連続で繁殖し計29羽もの子どもを育て上げていますが、これに続く新しいペアの誕生は大きな課題です。また地域の活性化は、そこに住む人々の熱意と継続する力が必要です。コウノトリ基金が取り組むべきことは山積していますが、これら課題解決に向け一步一步着実に努力してまいりますので、今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

(羽)



コウノトリの野外個体数の推移

1971年に野生絶滅し、2005年に放鳥が始まって以降、野外個体数は増加し2024年末では460羽を超えました。2026年5月末には、国内の野外個体数は550羽を超えています。さらにひなが全て巣立つ8月には700羽に達すると言われています。

徳島県内での確認個体数は2015年頃から増えはじめ、2025年には足環などで個体確認ができたものだけで187個体になりました。

What ? ▶ 鳴門板東ペアの繁殖と子どもたち

J0044オス(愛称；ゆうひ)とJ0480メス(愛称；あさひ)の鳴門板東ペアは、2017年から2026年までの10年間で、29羽の子どもを巣立たせました。これは2026年現在、全国で繁殖している約70ペアの中でもトップクラスの繁殖成績です。

巣立った子どもたちの中には、事故死したり行方がわからなくなっている個体もありますが、元気である子どもたちは今どこにいるのか？

情報が得られている18羽の、2026年7月中旬時点での居場所に関する最新情報は下のとおりです。

直近の確認場所と日付		
J0140 (オス) : 蓮(れん)	香川県多度津町で事故死	2020年4月2日
2017年 6月2日巣立ち		
J0141 (オス) : なる	佐賀県杵島郡	2026年3月30日
2017年 6月8日巣立ち		
J0142 (メス) : あさ	鳴門市で事故死	2018年2月9日
2017年 6月2日巣立ち		
J0181 (メス) : 歌(うた)	栃木県小山市で事故死	2020年10月14日
2018年 5月24日巣立ち		
J0182 (メス) : 百(もも)	長期消息不明	
2018年 5月22日巣立ち	2018年10月30日 (三重県桑名市)	
J0223 (メス) : 藍(あい)	兵庫県加東市	2025年11月20日
2019年 6月7日巣立ち		
J0224 (オス) : 令(れい)	鳴門市で事故死	2020年10月9日
2019年 6月4日巣立ち		
J0225 (メス) : 和(かず)	京都府京丹後市で事故死	2020年10月5日
2019年 6月7日巣立ち		
J0278 (オス) : 渦(うず)	香川県丸亀市	2025年12月14日
2020年 6月16日巣立ち		
J0279 (メス) : めい	福井県越前市	2026年3月29日
2020年 6月16日巣立ち		
J0280 (オス) : 海(かい)	茨城県行方市	2026年3月29日
2020年 6月16日巣立ち		
J0346 (メス) : えがお	鳴門市	2026年2月8日
2021年 6月10日巣立ち		
J0347 (メス) : にじ	香川県丸亀市で死亡	2022年11月15日
2021年 6月10日巣立ち		
J0348 (メス) : 花(はな)	長期消息不明	
2021年 6月8日巣立ち	2022年10月25日 (兵庫県加古川市)	
直近の確認場所と日付		
J0418 (オス) : 爽(そう)	鳴門市	2026年7月20日
2022年 6月15日巣立ち		
J0419 (オス) : 大(だい)	島根県雲南市	2026年2月13日
2022年 6月15日巣立ち		
J0420 (メス) : なみ	鳴門市	2026年5月14日
2022年 6月15日巣立ち		
直近の確認場所と日付		
J0509 (メス) : はる	鳴門市	2026年5月6日
2023年 5月24日巣立ち		
J0510 (メス) : 月(つき)	鳴門市	2026年5月11日
2023年 5月27日巣立ち		
J0511 (オス) : 碧(あお)	兵庫県豊岡市で事故死	2023年7月23日
2023年 5月25日巣立ち		
J0705 (オス) : 華(こう)	京都府与謝郡	2026年2月28日
2024年 6月25日巣立ち		
J0706 (オス) : 陽(よう)	鳴門市	2026年3月16日
2024年 6月25日巣立ち		
J0707 (メス) : 風(なぎ)	長期消息不明	2024年6月28日 (鳴門市)
2024年 6月25日巣立ち		
J0708 (メス) : 結(ゆう)	鳴門市	2026年3月14日
2024年 6月25日巣立ち		
J0829 (オス) : そら	徳島県阿波市	2026年6月19日
2025年 6月13日巣立ち		
J0830 (メス) : 心	鳥取県鳥取市で死亡	2025年8月11日
2025年 6月15日巣立ち		
J0831 (メス)	鳴門市 巣上で死亡と推定	2025年5月22日
2025年		
J1008 (オス) : 輝(てる)	鳴門市	2026年7月20日
2026年 6月15日巣立ち		
J1009 (オス) : げん	鳴門市	2026年7月20日
2026年 6月15日巣立ち		
J1010 (オス) : なるひ	鳴門市	2026年7月20日
2026年 6月15日巣立ち		



2026年鳴門生まれの“輝”、“げん”、“なるひ”
2026年6月21日

Report ▶ コウノトリが結ぶ国際シンポジウムを開催

とき：2025年10月31日(金)午後2時～4時30分 場所：JRホテルクレメント徳島(徳島市)
主催：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金
後援：徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会/徳島新聞社/四国放送/NHK徳島局

● シンポジウム開催のきっかけ

2023年10月に鳴門市の姉妹都市であるドイツのリュネブルク市の使節団がコウノトリ基金を訪問してくれたことから、コウノトリを介したドイツとの交流が始まりました。
2024年9月にはコウノトリ基金の河口洋一理事が、ドイツのエレベ川流域におけるヨーロッパコウノトリの保全や水辺環境の活用について現地調査を行いました。その際に現地を案内してくれたヨハネス・プリューター博士をお招きして、このシンポジウムを開催することになりました。

シンポジウムはYouTubeで視聴できます →



● プログラム

1. 報告

徳島県でのコウノトリと人の10年のあゆみ とくしまコウノトリ基金理事長 熊谷幸三

2015年に現在の「鳴門板東ペア」となる2羽のコウノトリが徳島県鳴門市に飛来し、繁殖行動を始めてから10年の節目を迎えました。この間にコウノトリの飛来数は飛躍的に増え、鳴門板東ペアは2017年に兵庫県豊岡市周辺以外では全国初となる繁殖に成功し、2025年までに26羽の子どもを育てあげた経過や、コウノトリを受け入れた地域の変化や野生復帰を進めるための取組などについて報告しました。

2. 児童による発表(コウノトリを生かした環境学習)

鳴門市堀江北小学校、鳴門市板東小学校、栃木県小山市立下生井小学校

コウノトリ基金が環境学習の支援をしている鳴門市の2校の児童が、板東小学校は4年生約50名が会場で、堀江北小学校はビデオレターで、それぞれ学習の成果を発表してくれました。
また、鳴門生まれのコウノトリ「歌(うた)」が小山市で繁殖した事をきっかけに堀江北小学校との交流が始まった下生井小学校は、渡良瀬遊水地の生き物や、事故で死んでしまった「歌(うた)」を今も大事にしていることなどをビデオレターで伝えてくれました。



板東小学校の発表

3. 講演

ヨーロッパコウノトリの復活とエレベ川流域の湿地と農業の再生
リュネブルク・ロイファナ大学教授
ヨハネス プリューター (Johannes Prüter) 博士



ユネスコのバイオフィアリザーブ(生物圏保護区)に指定されているドイツのエレベ川流域におけるヨーロッパコウノトリの生息環境、餌生物、土地利用、保全にかかわる国際及び国内の規制、活動プログラム、資金調達、調査・研究の機関、ボランティアネットワーク等々、幅広く解説して頂きました。
また、会場の多くの熱心な参加者からの質問にも真摯に答えてくださいました。
英語で講演し、逐次通訳を行いました。

Report ▶ 良好な水環境の保全・活用モデル事業を実施

コウノトリ基金は、環境省から「令和7年度 良好な水環境の保全・活用モデル事業」の実施団体に選定され、島田島において地元の方々とともに様々な取組を進めています。
令和8年度も同事業の継続が認められ、2027年2月まで実施する予定です。

● 保全に関する取組

- 1 コウノトリの新たな生息地づくり
- 2 両生類の産卵場づくり
- 3 希少植物の復活

5 ページ参照



耕作放棄地を水環境に再生する作業
2026年3月

4 自然共生サイトへの登録

ビオトープ整備を進めている湿地と現在耕作されている水田からなるエリアの、環境省自然共生サイトへの登録を目指しています。
登録に必要な生物のデータを得るため、2025年から、植物、鳥類、魚類、両生類、昆虫など、それぞれの専門家による現地調査を実施しており、2026年9月には環境省に申請手続きを行う計画です。
申請が認められれば、徳島県では2か所めの登録地になります。



魚類の調査 2025年10月

● 活用に関する取組

1. 美しい農村景観の復元

かつての農村の美しい景観を取り戻すため、耕作放棄地の草を刈り、トラクターで耕運して、菜の花の種をまいたところ、春には明るい黄色の風景が出現しました。



耕作放棄地の草刈り
2025年12月



2026年4月

2. ほどよい賑わいの創出

① 観察会



トンボ観察会
2025年8月



タカの渡り観察会
2025年9月



地層と化石観察会
2026年1月



オタマジャクシ救出作戦
2026年4月

② トレイルランニング&ウォーキングイベント

渡船で島田島に渡り、自然や歴史を学び楽しみながら、島内を走ったり歩いたりするイベントを2026年5月から定期的の実施しています。



渡船で島田島へ
2026年5月



れんこんハウスへ立ち寄り
2026年5月



③ 島あいプロジェクト

地元農家がアイを栽培し、「島あい研究所」が染料にして藍染め製品の開発や、藍染め体験などを実施します。



アイの共同育苗(播種)
2026年3月



生育するアイ
2026年6月

● 環境省レッドリストのランク引き下げ

2026年3月17日に、環境省から第5次レッドリスト(鳥類及び爬虫類・両生類)が公表され、コウノトリのランクを、絶滅危惧IA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)から絶滅危惧IB類(近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)へと1段階引き下げました。野外個体数や繁殖するペアが増えているものの、まだ絶滅の危険性が高いという状況からは脱していません。これからもコウノトリも人も暮らしやすい環境づくりの取組を続けていきます。



鳴門市の上空を舞うコウノトリの群れ

● 鳴門板東ペアの孫J0959が死亡

2025年12月16日、鳴門市大津町のレンコン田で動けないコウノトリがいたとの情報が県に寄せられ、県から連絡を受けて現場に向かい、鳴門市職員とともに救護しました。すぐに県のコウノトリ救護センターへ運び獣医師による処置を受けましたが、息を引き取りました。翼などが激しく損傷しており、現場のすぐ近くに高圧送電線が走っていることから、送電線に激突した可能性が大きいと思われます。

この個体J0959は2025年佐賀県白石町生まれのメス(愛称；かりん)で、父親は2017年鳴門生まれのJ0141(愛称；なる)です。つまり鳴門板東ペアの孫にあたります。

J0959は、鳴門市が剥製にして、市役所(2026年8月14日まで)や市内の小学校などで展示されることになっています。



鳴門市役所で展示されたJ0959の剥製 2026年7月
鳴門市のホームページから

● J0338を放鳥

J0338は、2022年5月に鳴門市大津町で飛べなくなっているところを保護捕獲され、治療を受けていました。飛翔が可能になったと判断されたため、2025年9月末に放鳥しました。ひと月ほどは放鳥地で単独で行動していましたが、別の2羽のコウノトリに追われたのち、11月上旬からは鳴門IC周辺の国道の近くでたびたび見かけられていました。その後、鳴門ICに近い国道で死亡した状態で見つかり、県の獣医師により事故死と判断されました。放鳥後は健康状態も問題なく、徐々に飛行距離を伸ばすなど順調に野生復帰が進んでいただけに、非常に残念な結果になってしまいました。



放鳥時の様子

● 鳴門市が幼稚園と小中学校に「コウノトリふるさと給食」を提供

2026年1月30日に、「コウノトリれんこん」と、「コウノトリのお米 朝と夕」を使用した「コウノトリふるさと給食」が、子どもたちや教員等、約4200名に提供されました。これは、鳴門市や徳島県の地場産物を使った料理や、徳島県の郷土料理等を取り入れ、地場産品の活用や地域の食文化の伝承等を通して食育の推進を図る、全国学校給食週間の特別献立として提供されました。

給食を通して、多くの方々に、コウノトリの生息には地域の農業が大きく関わっていることや、環境整備に向けて取組が行われていることを知っていただく機会となりました。使われたお米の費用の増額分は、コウノトリ基金が負担しました。



提供された「コウノトリふるさと給食」

● アイガモロボを導入

ボランティアチーム「クレイドル」で、農薬を使わずにビオトープ米を栽培していますが、毎年、草対策に頭を悩ませていました。そこで、今年からアイガモ農法を模した、アイガモロボを導入しました。アイガモが田んぼの中を泳いだ際に泥を巻き上げたり、草を食べることで草を抑制する働きをまねて、フロートの下にあるブラシが泥を巻き上げ水を濁らせることで、草の発芽を抑制する効果があるとされています。中耕除草機や人力での除草も行い、除草剤を使わずに草を抑えるため、試行錯誤をしています。



ビオトープ水田で稼働中のアイガモロボ

● コウノトリ普及活動

コウノトリのことや、コウノトリ基金の活動を知っていただくために、様々な機会をとらえてコウノトリの剥製や活動紹介パネルの展示、コウノトリ応援商品等の販売を行いました。



鳴門市と連携した企画で、剥製を展示
2025年8月 鳴門市役所



コウノトリ応援商品の販売
2025年10月 食の宝島とくしまフェス

● コウノトリ応援商品に新たな仲間

コウノトリ基金の会員である「花れんこん」様が、「コウノトリのお米 朝と夕」を使ったおにぎりを、「道の駅いたの」や「道の駅くるくるなると」で販売しています。

コウノトリのお米を阿波尾鶏の出汁で炊き上げ、鶏肉とれんこん、すだちがのった、徳島のおいしいものがつままったおにぎりです。ぜひご賞味ください。



「道の駅いたの」の商品棚に並ぶおにぎり

● 自然共生サイト勉強会を開催

環境省が、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として、認定する取組を令和5年度から開始しています。徳島では、まだ1か所しか登録されていません。

認定を受けることで企業や他団体と連携しやすくなるとされていることから、島田島で進めているビオトープ整備エリア周辺の登録に向けて、環境省から講師をお招きし2025年7月に勉強会を開催しました。勉強会には、県内で環境保全や再生に取り組んでいる方々にもお声掛けし、自然共生サイトのしくみや申請までの手続き等について学びました。



環境省から自然共生サイトについて説明

Action ▶ ビオトープの整備

大谷地区（鳴門市大麻町）

秋から春にかけて、コウノトリが飛来して採餌をしています。

ビオトープ内の無農薬栽培の実証水田に作った江（え；退避溝ともいう）には、水田に水がない時期にも水生動物が生息できるため、コウノトリの餌場としての役割を果たしています。



飛来して餌を探す2羽
2026年3月



江で採餌中
2026年3月

※この活動は、一般財団法人日亜ふるさと振興財団の助成を受けています

牛屋島地区（鳴門市大麻町）

ビオトープ内ではドジョウが増えています。トラクターで除草のために耕運すると捕りやすくなるので、サギ類やコウノトリがやってきてたくさん捕食します。

ドジョウは3cm程度の小さなものいることから、ビオトープで繁殖しているようです。



ビオトープで採餌して休憩中
2026年3月



ドジョウを捕らえたチュウサギ
2026年6月

大島田地区（鳴門市瀬戸町島田島） 主に島田島にコウノトリを呼ぶ会が管理しています

耕作放棄地を再生して開放水面を作ることを目指していますが、夏季にはガマ類に覆い尽くされ広い水面が見える状態になりませんでした。しかし2025年から2026年にかけての管理がうまくいき、開放水面が広がりました。すると、何種類もの絶滅危惧種の水生植物が出現し花を咲かせました。50年前に耕作放棄地に埋もれた種（埋土種子）が発芽したものと思われます。



広がった開放水面とミズオオパコ 2026年6月



県立博物館の内藤学芸員による水生植物の調査 2026年6月

2025年11月にビオトープ内に、絶滅危惧種のニホンアカガエルの産卵場を作りました。3月になって水がたまると、ニホンアカガエルが大量に産卵をはじめ、4月に孵化。オタマジャクシが育って6月にはカエルになって産卵場を出て行きました。



耕作放棄地をもとの田んぼ状態にして産卵場を作る 2025年11月



雨が降って水がたまった 2026年3月



ニホンアカガエルの卵塊2026年3月

島田島への定着が期待されていた2羽のコウノトリがいました。3年連続で冬季滞在していたJ0625オスと、島外で負傷し救護され治療、回復して2025年9月末に島田島で放鳥され滞在していたJ0338メス。ところが、2025年11月にJ0338が、2026年1月にJ0625が、ともに島外で事故死してしまいました。大事な2羽を失いましたが、その後もコウノトリは飛来しているので、新たに定着することを期待したいと思います。



ビオトープでボラを捕ったJ0625 2026年1月



島内の農道を歩くJ0338 2025年10月



J0834とJ0942 2026年3月

※この活動は、環境省の良好な水環境の保全・活用モデル事業による支援を受けています

Partnership ▶ 地域みなさんと一緒に

● ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

2020年に、お米生産者・本家松浦酒造場・とくしまコウノトリ基金が連携して始まったプロジェクトに、2024年から志まや味噌様を加わり、「御膳みそ 朝と夕」が誕生しました。2025年4月に販売開始した味噌はご好評をいただき、想定より早く売り切れとなりました。2026年4月には、第2弾のお味噌が販売開始となり、こちらもお好評いただいています。

「コウノトリの酒 朝と夕」は、今年もフルーティで飲みやすい仕上がりになっています。今年、以前からご要望のあった、180ml入りミニボトルでの販売を開始しました。少し飲んでみたい方や、お土産にちょうどいいサイズとなっています。

去年は、ビオトープ米を精米し、道の駅いたので数量限定で販売しました。商品が増えることで、コウノトリやコウノトリ基金の取組について知っていただく機会を増やすことができました。

※このプロジェクトは、一般財団法人日垂ふさと振興財団の支援を受けています



「御膳みそ 朝と夕」と
「コウノトリの酒 朝と夕」お披露目会
2026年4月



2026年版ボトルデザインと
御膳みそ 朝と夕



「道の駅いたの」の商品棚に並ぶ
「コウノトリのお米 朝と夕」

● コープ自然派「田んぼの楽校」

有機農業に取り組んでいる地元の佐々木農園様と連携し、大谷ビオトープの一角でコープ自然派の「田んぼの楽校」の運営を支援しています。

月1回、コープ自然派組合員の方々と春の田植えから、草抜き、収穫作業を行い、秋には収穫祭も行いました。今年も、田植えや草抜き、田んぼの生きもの観察を行いました。お米の作り方や農家の仕事、田んぼで育まれている生きものについて、体験を通して楽しく学ぶ機会となっています。



コンバイン体験 2025年9月



れんげ畑遊び 2026年4月



竹とシュロを使った産卵床作り 2026年4月

● コウノトリれんこん掘り体験

減農薬・減化学肥料で栽培されている「コウノトリれんこん」を栽培するとうり農産の田んぼで、エコみらいとくしま(NPO法人徳島サステナブル社会推進センター)やアオアヲナルトリゾートと連携し、れんこん掘り体験を開催しました。手掘りの大変さや、この地域に住む生きものを知ることで、この地域をコウノトリが選んだ理由や、地域の方々の取組について学んでいただきました。



● ヤマセミとブッポウソウ復活プロジェクト in 那賀川

かつて那賀川流域で繁殖していた美しい2種類の絶滅危惧種の野鳥を、産・学・官・民の協働により復活させ、地域の魅力にしようという新しいプロジェクトを始めました。

那賀町や那賀川流域地域ワーキング検討会の協力を得て、(公財)日本生態系協会と共同で実施します。



ヤマセミ 絶滅危惧ⅠB類(徳島県)、絶滅危惧Ⅱ類(環境省)

全国的に減少していて、徳島県内ではほとんど姿を消しましたが、那賀川上流にはごく少数が生き残っています。

しかし巣穴を掘れる土の壁などが減少し、繁殖が困難になり、このままでは絶滅が予想されます。

巣穴が掘れるような土の壁を保全したり、作り出すことによって繁殖できるようにし、絶滅を食い止めることを目指しています。



ブッポウソウ 絶滅危惧ⅠA類(徳島県)、絶滅危惧ⅠB類(環境省)

かつては旧上那賀町、旧池田町、神山町などで繁殖していました。

しかし、現在は徳島県内では20年近く繁殖が確認されていません。

全国的に減少していますが、他県では巣箱をかけて生息数が回復している事例があります。巣箱は樹木でなく金属の柱や構築物にかけたものを好みます。

道路脇の空き地などに、金属製の柱をたて、巣箱をかけて繁殖できる場所を作ることによって、復活を目指しています。

※このプロジェクトは、一般財団法人日垂ふさと振興財団の支援を受けています

● ボランティアチーム「クレイドル」の活動

コウノトリ基金の活動を支えるボランティアチーム「クレイドル(英語で“ゆりかご”の意味)」は、毎月第1、3土曜日を定例活動日として、ビオトープの整備をはじめ様々な活動をしています。

▶ ビオトープ整備

ビオトープの草刈りや改良、化学肥料や農薬を使わないお米づくりをしています。年末には収穫したお米を主役に、忘年会を行いました。季節外れの暑さで、大谷ベースで、かまどでご飯を炊き、バーベキューをしました。今年から、繁茂して困っているガマの対策を始めました。他地域でうまくいった方法を試しています。



▶ インセクトハウスづくり

インセクトハウスとは、虫が越冬したり産卵したりできる巣箱のことです。2025年春に、ビオトープ脇に2つ設置したところ、9月には竹や木に空けた穴に、土や草が詰まっていた。詰め物や穴の大きさ別にケースに入れ、どんな種類の虫が産卵したか調べました。春に羽化がはじまり、虫を食べるドロバチ類や、受粉を助けるハナバチ類が確認できました。



Education ▶ 環境学習・企業研修

小学校から大学まで、また様々な団体に対して、環境学習や研修プログラムを提供しています。コウノトリを含むたくさんの生き物や、生き物を育む環境、農業の大切さの学びを大切にしています。

堀江北小学校（2021年4月～）

4年生を対象に実施しているプログラムは、今年度で6年目となりました。1学期に、コウノトリやコウノトリのエサとなる様々な生き物についての座学や、ビオトープでの観察を通して学んだことを基に、コウノトリも私たちが暮らしやすい地域づくりに向けて何ができるかを考え、行動してくれています。2学期に開催する、栃木県小山市の下生井小学校とのオンライン交流授業では、学んだことを互いに発表し、それぞれの地域の特徴や取組について学び合っています。



ビオトープの生きもの観察 2026年5月



オンライン交流授業での発表 2025年11月

板東小学校（2024年5月～）

板東小学校の環境学習は、エコみらいとくしま（NPO法人徳島サステナブル社会推進センター）と、（公財）日本生態系協会・国土交通省徳島河川国道事務所と連携しながら、支援を行っています。エコみらいとくしまとは、2025年度に、4年生と5年生を対象として、コウノトリのエサとなる生き物がくらしやすくなるよう、農薬や化学肥料の使用を減らした田んぼでの農業体験（田植え・稲刈り）と、収穫したお米を使った調理実習の実施について、連携して支援を行いました。調理実習の際は、（有）志まや味噌にもご協力をいただきました。2026年度も引き続き、4年生を対象に連携して支援を行っています。（公財）日本生態系協会・国土交通省徳島河川国道事務所とは、5年生を対象として、板東小学校の近くを流れる旧吉野川の自然再生事業地をフィールドとして、コウノトリの採食に適した湿地の整備と合わせた、カワセミもすめるような環境づくりについて、環境学習の支援を行っています。こうした学習を受け、児童のほうでも、どのような環境がよいのか等を考えてくれています。



稲刈り体験 2025年10月



調理実習 2025年11月



田んぼの生きもの観察 2026年6月



自然再生事業地でのフィールド学習
2026年3月



カワセミもすめる環境づくり等についての学習
2026年6月

吉備国際大学

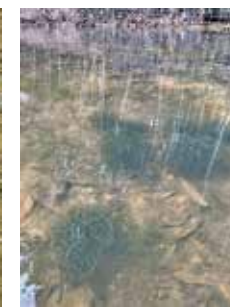
コウノトリ基金は、島田島において地元の方々とともに両生類の産卵場づくりを行ってきました。そこでは、「両生類の幼生個体の収容能力を定量的に把握すること」を目的に、吉備国際大学農学部海洋水産生物学科学生がサンプリング調査を行っています。

両生類幼生の個体数変化

4月から7月までの間に、7日から10日おきに両生類の幼生を採取しました。その個体数は徐々に減少していきましました。採取直後は手足がない個体が多くを占めていたものの、6月末にはほとんどの個体に手足が生えていました。その後、7月初旬には採取個体は見られなくなりました。多くの個体は周辺山林に移動したと思われるため、移動する姿を観察する目的でカメラ映像を撮影しました。今後は映像を確認する予定です。



産卵場に出現した
両生類の卵塊
2026年3月



産卵場での調査と
観察用に設置した
カメラ
2026年5月

耕作放棄地を再生した水田での稲作とボランティア参加

海洋水産生物学科の学生が、コウノトリの餌場となる水田での稲作に挑戦しました。水田作業は初めての経験だったそうで、はじめは飛び跳ねるカエルに怖がっていましたが、今では頼もしい姿で作業をしてくれています。ボランティアチーム「クレイドル」の一員としても参加してくれており、畦や水田の草刈りや大谷ベースの暑さ対策の作業などに参加してくれています。今年度で作成する鳥類図鑑の作成にも挑戦していただいています。



阿南高等専門学校

機械コース5年生のフィールド学習を受け入れました。持続可能な社会に向けて、環境問題への知見を深め考えることを目的に、コウノトリ基金や本家松浦酒造場の取組を学びに来てくださいました。地域にある課題を、地域の力を合わせて解決に向けて取り組んでいる方法や思いを学んでいただきました。



コウノトリ基金の取組について説明 2025年12月

徳島県勤労者福祉ネットワーク

昨年に続いて、スタッフ研修の受け入れを行いました。コウノトリ基金の取組の説明やビオトープを紹介した後、コウノトリれんこんの収穫体験を行いました。手掘り収穫の大変さに驚きつつ、地域の農業がコウノトリの生息環境を支えていることを学んでいただきました。



コウノトリれんこん掘り体験 2025年11月

Donation ▶ ご寄付

🌸 ご寄付有難うございました

裏表紙でご紹介しているコウノトリ応援商品の売上からのご寄付のほかに、次の皆様からご寄付を頂戴しました。掲載はご寄付の日付順です。

しらさぎ会様 アオアヲ ナルトリゾート様 コープ自然派事業連合様 株式会社鹿草組様
こうのとりの農産合同会社様 オオヒラ ヨウコウ様 米作り参加メンバー様

認定NPO法人への寄付金、会費は税制上の優遇措置の対象となります

とくしまコウノトリ基金は、2023年8月に徳島県から「認定NPO法人」に認定されたため、当法人への寄付金(年会費を含む)は、税制上の優遇措置の対象となります。

- ・個人が寄付をされた場合：所得税及び住民税の「寄附金控除」を受けられます。
確定申告が必要です。
住民税の控除は徳島県内在住の方に限ります。
- ・法人が寄付をされた場合：「特別損金算入限度額」が適用されます。
- ・相続人が相続財産を寄付された場合：「相続税が非課税」になります。

上記の優遇措置を受ける際に必要な「寄附金受領証明書」を発行いたします。

Join ▶ 活動に参加する方法

とくしまコウノトリ基金の取組には、以下の方法で参加することができます。
できる方法で、活動へのご参加、ご支援をお願いいたします。

🌸 ビオトープの整備

当法人で管理しているビオトープの整備作業を、お手伝いください。
ビオトープ周辺の草刈りや、ビオトープに住んでいる生きものを調べたり、生きものを増やすための魚道の整備や産卵床の作製・設置といった作業を行っています。整備作業は、草刈り機や農機具を使った作業が中心ですが、生きもの調査は子どもから大人までご参加いただけます。



🌸 イベント運営のサポート

当法人では、コウノトリやトンボの観察会や、れんこん掘り体験といったイベントを開催しています。イベントの受付や、参加者の誘導や安全管理といった、運営に携わりながらイベントにも参加いただけます。



🌸 広報物の編集やデザイン

年1回発行している「ゆりかご」の編集やデザイン、活動紹介動画の作成等、当法人の取組の広報に関する部分をお手伝いください。



Member ▶ 賛助会員 (2026年6月30日現在)

企業・団体

(左から縦に入会順 敬称略)

徳島県農業協同組合	喜多機械産業株式会社	株式会社中岸商店
大津松茂農業協同組合	株式会社ネオビエント	徳島県森林組合連合会
大久保産業株式会社	公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク	株式会社徳松
株式会社阿波銀行	四国高速運輸株式会社	ケーブルテレビ徳島株式会社
公益財団法人とくしま産業振興機構	四国電力株式会社徳島支店	有限会社五十鈴
一般社団法人徳島新聞社	四国電力送配電株式会社徳島支社	国立大学法人鳴門教育大学
四国放送株式会社	株式会社エコ建設コンサルタント	東とくしま農業協同組合
一般財団法人徳島県観光協会	株式会社ヨシミ	徳島製材団地協同組合
JA徳島中央会	有限会社丸喜商店	株式会社三木組
JA全農とくしま	有限会社八木土建	有限会社吉本商店
JAバンク徳島信連	トクノウ株式会社	四国化工機株式会社
JA共済連徳島	医療法人倚山会田岡病院	株式会社本家松浦酒造場
JA徳島厚生連	総合ビル・メンテム株式会社	株式会社Brave はな薬局
四国建設コンサルタント株式会社	徳島県医師会	有限会社ジャンプ工業
一般社団法人徳島県建設業協会	東海運株式会社	株式会社コープ有機
株式会社松本コンサルタント	株式会社ダイリFPC	生活協同組合コープ自然派しこく
徳島市農業協同組合	徳島県漁業協同組合連合会	株式会社柚子りっ子
国立大学法人徳島大学	学校法人四国大学	花れんこん
阿波観光ホテル	森田緑化株式会社	アオアヲナルトリゾート
菊池産業株式会社	徳島トヨペット株式会社	島田島活性化プロジェクト
株式会社フジタ建設コンサルタント	赤松土建株式会社	岸化学グループ
株式会社 徳島大正銀行	光設計株式会社	日亜化学工業株式会社
社会医療法人川島会	富田製菓株式会社	石原金属株式会社
コウノトリ定着推進連絡協議会	徳島県建設業協会鳴門支部	株式会社マルハ物産
徳島信用金庫	株式会社テレビ鳴門	湯浅医院
日本野鳥の会徳島県支部	一般社団法人徳島経済同友会	内村食品工業株式会社
ニタコンサルタント株式会社	井上建設株式会社	徳元水産冷凍株式会社

個人

(20名のうち公開に同意いただいた方のみ掲載しています 敬称略)

安井 俊之 北岡 和義 藤原 学 西村 耕世 伊沢 幸雄 甲藤 知之
小笠原 章 梶川寿幸 阿部 徳男 小澤 俊樹 萬宮 千鶴子
八尾 和樹 熊谷 美智子 西村 宏昭 広瀬 和範 庄野 昌彦

会員数 174

賛助会員 100 (団体80 個人20)
協力会員 63 正会員 11

🌸 ご支援、ご入会をお願いします

たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。
賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



入会方法など
とくしまコウノトリ基金HP

🌸 SNS 活動の最新情報は、HPのほかSNSで発信しています。



活動レポート2026 Vol.7 ゆりかご 2026年8月発行
制作・発行 認定NPO法人とくしまコウノトリ基金

〒779-0223 徳島県鳴門市大麻町川崎394 Mail info@t-stork.jp Tel 090-2825-6721

Partnership ▶ コウノトリ応援商品



このマーク
が目印

私たちの活動に賛同していただいた企業、団体が販売しているコウノトリとの共生を目指すコウノトリ応援商品をご紹介します。売上の一部をコウノトリ基金の活動にご寄付いただいております。

ビオトープ米およびコウノトリれんこん関連商品



オンライン
ショップ



コウノトリの酒 朝と夕

本家松浦酒造場

鳴門板東ペア“あさひ”と“ゆうひ”が子育てする巣の近くで、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で育てたお米でつくられた日本酒。

* 販売場所 本家松浦酒造ナルトタイの店、県内スーパー他



オンライン
ショップ



御膳みそ 朝と夕

志まや味噌

鳴門板東ペア“あさひ”と“ゆうひ”が子育てする巣の近くで、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で育てたお米でつくられた徳島のご当地味噌。

* 販売場所 志まや味噌、本家松浦酒造ナルトタイの店他



コウノトリれんこん

JA徳島県鳴門支店 特別栽培部会
こうのとり農産合同会社

コウノトリの生息、繁殖を支えてくれているレンコンを、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で生産。鳴門市の「コウノトリおもてなし」認証商品。



れんこんカレー 薬膳粥

島田島活性化プロジェクト

「コウノトリれんこん」がたくさん入った、健康と美味しさにこだわったカレーと薬膳粥。

* 販売場所 農産物直売所えがお、道の駅第九の里、なると物産館



オンライン
ショップ



花れんこん

鳴門ピクルス 花れんこん

鳴門のれんこんを使ったピクルス。歯ごたえのある蓮の水中茎、栗のような食感の実、れんこんまるごとをお楽しみいただけます。

* 販売場所 徳島阿波おどり空港、道の駅くるくるなると他



オンライン
ショップ



れんこん入りゆずみそ

株式会社柚りっ子

徳島県産農薬不使用ゆずと、特製の阿波御膳みそで作った、原材料国産100%・保存料着色料無添加の手作りゆずみそに徳島県産のれんこんを加えた「おかずみそ」。

* 販売場所 県内スーパー、道の駅くるくるなると、オンラインショップ他



オンライン
ショップ



古代蓮茶

株式会社Braveはな薬局

島田島活性化プロジェクトが無農薬で育てた古代蓮の葉のお茶。

* 販売場所 Braveはな薬局、オンラインショップ



古代米 阿波音

島田島活性化プロジェクト

島田島で栽培した、黒米、赤米、緑米と、3種類をブレンドした古代米ブレンドのセット。白米を炊く時に本品を混ぜるだけで、古代米をお楽しみいただけます。

* 販売場所 道の駅第九の里、農産物直売所えがお、本家松浦酒造ナルトタイの店他



れんこんの雫

島田島活性化プロジェクト

鳴門産のれんこんのパウダーを混ぜ込んだ、のどにやさしい飴。

* 販売場所 道の駅第九の里、なると物産館、本家松浦酒造ナルトタイの店他



蓮華玉念珠

蓮華玉本草ストラップ
蓮華玉ブレスレット

島田島活性化プロジェクト

島田島で収穫された古代蓮の実を使っています。

* 販売場所 道の駅第九の里、なると物産館、本家松浦酒造ナルトタイの店他



はばたき866

有限会社 丸喜商店

「コウノトリおもてなし」認証に必要な栽培方法に適合する、有機質成分の多いれんこん用肥料。環境にやさしい稲作にも使えます。

* 販売場所 A徳島県鳴門支店



SDGsコウノトリ応援 宿泊プラン

アオアヲナルトリゾート

瀬戸内海国立公園内に位置しているホテル・アオアヲナルトリゾートの利用者とホテルから、当基金に寄付していただく宿泊プラン。

* 販売場所 アオアヲナルトリゾートホームページ



予約ページ



オンライン
ショップ



名入れ絵本

ようこそ！あかちゃん

名入れ絵本 本わか屋

登場人物の名前を自分自身や送りたい人の名前にして、セミオーダーで作ることができる絵本。物語に、コウノトリが登場します。

* 販売場所 オンラインショップ